



ガイア電解水生成 SYSTEM

Win-G SN シリーズ

～ 石油から水へ ～ 化学合成物質や界面活性剤を使用しない
安心・安全な新しいアルカリオン洗浄水システム



※実際には架台が標準装備となります。

超アルカリ電解水
驚異！pH13 以上を生成

ムダな水を排除・エコ設計
世界初の一方吐水方式

大量生成・連続運転可能
ランニングコストセーブ！

電解水生成が簡単に
簡易 pH 切替機能搭載

運用コストセーブ！
交換部品の長寿命化実現

世界初・一方吐水システムは様々な分野での可能性を広げます。

電解水生成時に無駄水を出さない技術である一方吐水方式を採用した Win-G シリーズ。
今まで実用化できなかった分野・用途にも採用され、業界に革命を起こします。

**電解装置の問題を解決
徹底したエコ・経済設計**

◇**一方吐水方式とは？**

通常、電解水を生成する際には、アルカリ水と酸性水の両方が生成されますが SN シリーズはアルカリ水のみを生成する方式のため、余分な酸性水を出しません。

※電解質側の水は定期的に交換します。交換時の水は中性です。

ヨーロッパ CE 認証を取得。

ヨーロッパ(EU)
地域の製品安全
基準に合格。



ガイアは装置の安全性にも
万全を期しています。

**安定的な生産が可能に
生成量も大幅にアップ！**

◇**電解 CELL（電解槽）の交換不要。安定的な生産が可能です。**

他社製の多くに見られる電解 CELL 交換。これは車でいえばエンジンの交換です。交換は性能が低下・劣化によるものであり、それが無い事で安定的な生産を実現。

◇**新方式電解槽方式により、生成能力がさらに向上！**

従来の電解槽に比べて、**生成効率が実質 2 倍以上**となり、実質の生産量が 2 倍以上に！
消耗品の**交換サイクルが 5 倍以上**に延びたため、ランニングコストが半分以下に軽減！

◇**連続運転により、大量生産、人件費もセーブ！**

1 時間ごとの電解質の補充作業が不要なため、作業コストがほとんどかかりません。

1 2 時間の連続運転が可能のため、大量生産が可能です。

	SN-10	SN-20	SN-30
本体寸法(mm)	W650×D850×H1600	W700×D1140×H1600	W700×D1420×H1600
本体重量(net)	105Kg	140Kg	180Kg
電源	AC100・240V / 50Hz (電圧は設置場所に対応可能)		
消費電力	800Wh	1400Wh	2000Wh
生成基準	pH12.5 ~ pH13.0 (範囲は調整可能)		
生成量(毎時) ※±15%	pH12.5 — 45ℓ 以下 pH13.0 — 15ℓ 以下	pH12.5 — 90ℓ 以下 pH13.0 — 30ℓ 以下	pH12.5 — 135ℓ 以下 pH13.0 — 45ℓ 以下

・記載の生成量については、目安であり数値を保証するものではありません。
・SN-20は生産を終了しました。



株式会社 ガイア

<http://www.gaea-world.com/>

本社 : 東京都葛飾区水元 2-8-20

TEL 03-5875-5851 FAX 03-5875-5852

このカタログの掲載内容は 2017 年 9 月 15 日現在のものです。
カタログ掲載の製品の内容・デザインは予告無く変更する場合があります。

GAEA Win-G シリーズ製品仕様

2016/3/1

No.	項目	仕様		備考
		SN-10	SN-30	
1	タイプ	強アルカリ水 専用		
2	本体寸法	W650×D850×H1600	W700×D1420×H1600	
3	本体重量	130kg	約180kg	
4	生成基準	pH12.5 ~ pH13.2 (範囲は調整可能)		
5	生成量 (±15%)	pH12.6 40ℓ以下/時 pH13.0 15ℓ以下/時 pH13.2 9ℓ以下/時	pH12.6 120ℓ以下/時 pH13.0 45ℓ以下/時 pH13.2 27ℓ以下/時	目安であり条件により変化
6	搭載電解槽	1台	3台	
7	電源	AC100V・110V・220・240V / 50Hz[60Hz]		海外電圧対応可
8	電解電源	600W (DC15 - 20A)	1,800W (DC15 - 20A)	
9	電解質	炭酸カリウム(K ₂ CO ₃) 純度 99%以上 15%~20%の水溶液にて使用		推奨値
10	給水圧	0.1Mpa ~ 0.5Mpa		
11	使用水質	総硬度 60mg/kg(ppm)以下		要軟水

[設置設備]

- ・ 見積価格については、タンク、給水用フィルター、軟水装置、pH メーターなどの付帯設備は含まれません。
設置する目的や設置場所の環境などによって、付帯設備も大きく異なりますので、システムとしてあらためて見積もりを致します。